

等級ごとの職員数(平成28年4月1日現在)

行政職給料表適用者

(1)再任用職員以外の職員

級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	職員数(人)	割合(%)
1級	定型的な業務を行う主事の職務	109	10.0%
2級	高度な知識又は経験を必要とする業務を行う主事の職務	184	16.9%
3級	(1)係長及び主査(これらに相当する職として市長が別に定める職を含む。以下これらを「係長職」という。)の職務	21	1.9%
	(2)主任の職務	128	11.8%
4級	(1)複雑又は困難な業務を処理する係長職の職務	157	14.4%
	(2)複雑又は困難な業務を処理する主任の職務	276	25.4%
5級	(1)課長及び主幹(これらに相当する職として市長が別に定める職を含む。以下これらを「課長職」という。)の職務	81	7.5%
	(2)特に複雑又は困難な業務を処理する係長職の職務	62	5.7%
6級	(1)部次長及び副参事(これらに相当する職として市長が別に定める職を含む。以下これらを「部次長職」という。)の職務	23	2.1%
	(2)複雑又は困難な業務を処理する課長職の職務	29	2.7%
7級	(1)部長及び参事(これらに相当する職として市長が別に定める職を含む。以下これらを「部長職」という。)の職務	5	0.5%
	(2)複雑又は困難な業務を処理する部次長職の職務	5	0.5%
8級	複雑又は困難な業務を処理する部長職の職務	7	0.6%
	合計	1087	100.0%

(2)再任用職員

級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	職員数(人)	割合(%)
1級	高度の知識又は経験を必要とする業務を行う主事の職務	55	100.0%

医療職給料表適用者

級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	職員数(人)	割合(%)
1級	(1)主査の職務	1	33.3%
	(2)医療業務を行う主事の職務	0	0.0%
2級	主幹の職務	0	0.0%
3級	(1)参事の職務	0	0.0%
	(2)複雑又は困難な業務を処理する主幹の職務	1	33.3%
4級	保健所長の職務	1	33.3%
	合計	3	100.0%

※割合については、等級ごとに少数点第2位を四捨五入しているため、合計において一致しないことがある。